

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【公開番号】特開2010-64336(P2010-64336A)

【公開日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-012

【出願番号】特願2008-232109(P2008-232109)

【国際特許分類】

B 41 J 29/38 (2006.01)

G 06 F 3/12 (2006.01)

B 41 J 5/30 (2006.01)

H 04 N 1/00 (2006.01)

【F I】

B 41 J 29/38 Z

G 06 F 3/12 D

B 41 J 5/30 Z

H 04 N 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月9日(2011.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の外部装置と通信可能であり、前記複数の外部装置の各々との間でファイルの同期処理を行うことが可能な画像形成装置において、

前記複数の外部装置との同期処理の状況に関する情報を含むファイル管理情報を格納する格納手段と、

前記同期処理を行うファイルを前記画像形成装置に保持するか否かを判断する第1の判断手段と、

前記格納手段に格納された前記同期処理の状況に関する情報に基づいて、ファイルの同期処理が前記複数の外部装置との間で行われたかどうかを判断する第2の判断手段と、

前記第1の判断手段が前記同期処理を行うファイルを前記画像形成装置に保持しないと判断し、かつ前記第2の判断手段が当該ファイルの同期処理が前記複数の外部装置との間で行われたと判断した場合に、当該ファイルを削除する削除手段と、を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記複数の外部装置は、他の画像形成装置を含み、

該他の画像形成装置との間でファイル管理情報を送受信する送受信手段と、

受信したファイル管理情報を基に、前記格納手段に格納されたファイル管理情報を更新する更新手段と、を備えることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

更に、前記第1の判断手段が前記同期処理を行うファイルが画像形成装置に保持するか否かを判断するための条件を登録する登録手段を備えることを特徴とする請求項1又は2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

複数の外部装置と通信可能であり、前記複数の外部装置の各々との間でファイルの同期処理を行うことが可能であり、前記複数の外部装置との同期処理の状況に関する情報を含むファイル管理情報を格納する格納手段を有する画像形成装置の制御方法であって、

前記同期処理を行うファイルを前記画像形成装置に保持するか否かを判断する第1の判断工程と、

前記格納手段に格納された前記同期処理の状況に関する情報に基づいて、ファイルの同期処理が前記複数の外部装置との間で行われたかどうかを判断する第2の判断工程と、

前記第1の判断工程において前記同期処理を行うファイルを前記画像形成装置に保持しないと判断され、かつ前記第2の判断工程において当該ファイルの同期処理が前記複数の外部装置との間で行われたと判断された場合に、当該ファイルを削除する削除工程と、を有することを特徴とする画像形成装置の制御方法。

【請求項5】

複数の外部装置と通信可能であり、前記複数の外部装置の各々との間でファイルの同期処理を行うことが可能であり、前記複数の外部装置との同期処理の状況に関する情報を含むファイル管理情報を格納する格納手段を有する画像形成装置に制御方法を実行させるためのプログラムであって、前記制御方法は、

前記同期処理を行うファイルを前記画像形成装置に保持するか否かを判断する第1の判断工程と、

前記格納手段に格納された前記同期処理の状況に関する情報に基づいて、ファイルの同期処理が前記複数の外部装置との間で行われたかどうかを判断する第2の判断工程と、

前記第1の判断工程において前記同期処理を行うファイルを前記画像形成装置に保持しないと判断され、かつ前記第2の判断工程において当該ファイルの同期処理が前記複数の外部装置との間で行われたと判断された場合に、当該ファイルを削除する削除工程と、を有することを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像形成装置、画像形成装置の制御方法、及びプログラム

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、例えば、他の画像形成装置を含む複数の情報処理装置との間でファイルの同期を行う画像形成装置、画像形成装置の制御方法、及びプログラムに関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで、本発明は、メモリ削減を図るとともに、実データを保持していないファイルを他の装置から要求されることを回避することができる画像形成装置、画像形成装置の制御方法、及びプログラムを提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために、本発明の画像形成装置は、複数の外部装置と通信可能であり、前記複数の外部装置の各々との間でファイルの同期処理を行うことが可能な画像形成装置において、前記複数の外部装置との同期処理の状況に関する情報を含むファイル管理情報を格納する格納手段と、前記同期処理を行うファイルを前記画像形成装置に保持するか否かを判断する第1の判断手段と、前記格納手段に格納された前記同期処理の状況に関する情報に基づいて、ファイルの同期処理が前記複数の外部装置との間で行われたかどうかを判断する第2の判断手段と、前記第1の判断手段が前記同期処理を行うファイルを前記画像形成装置に保持しないと判断し、かつ前記第2の判断手段が当該ファイルの同期処理が前記複数の外部装置との間で行われたと判断した場合に、当該ファイルを削除する削除手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】